

決 算 審 査 特 別 委 員 会

平成 2 1 年 9 月 7 日（月曜日）

決 算 審 査 特 別 委 員 会

平成21年9月7日（月曜日）

付議事件

委員長の互選

副委員長の互選

決算審査日程について

決算審査方法について

出席委員（12名）

委員長	神 子 功
委員	高 木 武 雄
委員	木 内 欽 市
委員	嶋 田 哲 純
委員	林 七 巳
委員	島 田 和 雄

副委員長	佐久間 茂 樹
委員	日 下 昭 治
委員	柴 田 徹 也
委員	景 山 岩三郎
委員	伊 藤 房 代
委員	平 野 忠 作

欠席委員（なし）

委員外出席者（2名）

議 長 向 後 和 夫

副 議 長 林 一 雄

事務局職員出席者

事務局 長	加 瀬 寿 一
主 査	穴 澤 昭 和

事務局 次長	石 毛 健 一
--------	---------

開会 午前11時38分

○議会事務局長（加瀬寿一） 本会儀でお疲れのところ大変ご苦労さまでございます。

それでは、決算審査特別委員会を開催するに当たりまして、委員長が選出されておられませんので、旭市議会委員会条例第10条第2項の規定により、委員長が選出されるまでの間、出席委員の中の年長者でございます高木武雄委員に座長を務めていただきたいと思います。

それでは、高木武雄委員、よろしくお願いいたします。

（座長 高木武雄 座長席に着席）

○座長（高木武雄） 大変ご苦労さまでございます。

ただいま一番年寄りということでご指名をいただきました高木でございます。

委員長が選出されるまで、しばらくの間、会議の進行を務めさせていただきますので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

ただいまの出席委員は12名、委員会は成立いたしました。

それでは、ただいまより決算審査特別委員会を開会いたします。

本日、向後議長と林副議長に出席をいただいております。代表いたしまして、向後議長よりごあいさつをお願いいたします。

○議長（向後和夫） 皆さん、本会議、大変ご苦労さまでございます。

ただいま本会議場におきまして、12名の皆様方が決算審査特別委員会の委員ということで選任をいたしまして、これから正副委員長の互選があるわけでございますけれども、本委員会は平成20年度の決算という大変な審査があるわけでありまして。十分なる審査をお願い申し上げまして、簡単ではございますが、あいさつに代える次第でございます。よろしくどうぞお願いいたします。

○座長（高木武雄） どうもありがとうございました。

それでは、案件でございますが、決算審査特別委員会の正副委員長の互選の件についてでございます。

それでは初めに、委員長を互選したいと思います。

委員長の互選はどのようにしたらよろしいでしょうか。指名推選という方法もあろうかと思いますが、ご意見ございましたらお願いいたします。

はい、どうぞ。

○委員（景山岩三郎） このままでいいと思うんですけれども、このまま委員長ということでいいと思うんですけれども。

○座長（高木武雄） ほかに方法ございませんか。

今、推薦いただきまして、大変ありがたいことなんですけれども、私も前々回ですか、皆さんのおかげをもちまして委員長職、やらせていただいておりますので、できますれば、ほかの方のご推薦をお願いします。

はい、どうぞ。

○委員（佐久間茂樹） 私は、神子委員さんをお願いしたいと思いますけれども。

（「異議なし」の声あり）

○座長（高木武雄） ただいま神子委員さんをお願いするという意見が出ました。

ほかにございませんか。

（発言する人なし）

○座長（高木武雄） それでは、ただいま佐久間委員より推薦がありました神子委員を委員長にすることよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○座長（高木武雄） それでは、ご異議なしと認めます。

よって、神子委員を委員長とすることに決定いたしました。

ここで委員長と交代いたします。

神子委員、委員長席までお進み願います。よろしくお願いします。

ご協力ありがとうございました。

（委員長 神子 功 委員長席に着席）

○委員長（神子 功） ただいま委員の皆様方よりご推挙いただきまして、委員長職を仰せつかりました。

ただいま議長のほうから申されましたように、平成20年度の決算ということで大変大切な決算審査特別委員会でございます。委員長役として皆様方にご協力いただきながら運営に携わってまいりますので、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。（拍手）

ありがとうございました。

それでは引き続き、決算審査特別委員会副委員長の選出を行いたいと思います。

それでは、副委員長を互選いたします。

互選につきましては、どのようにしたらよろしいでしょうか。

(「委員長一任」の声あり)

○委員長(神子 功) 景山委員。

○委員(景山岩三郎) 決算委員会ですので、総務常任委員会の委員長を副委員長にどうでしょうか。

○委員長(神子 功) ただいま林七巳委員からは委員長一任と、景山委員からは総務常任委員会の委員長をというお話がございました。それらを含めまして佐久間茂樹委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(拍手)

○委員長(神子 功) 皆様方の拍手をいただいて、佐久間茂樹委員が副委員長ということで選任をされました。

ここで副委員長の佐久間委員にごあいさつをお願い申し上げます。

○副委員長(佐久間茂樹) じゃ、すみません、自席で。

今、私ふなれでございまして、そういった意味では、高木委員、1回経験されているということで、もし、委員長に何かあったときということなんで、そういった意味では高木委員がしっかりできるだろうと、そう思って発言させていただこうと思ったんですが、いずれにしても、もう決まってしまったということであれば、すみません、私もふなれでございしますが、何かありましたら一生懸命やらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。(拍手)

○委員長(神子 功) よろしく願いいたします。

なお、ただいまの正副委員長の当選結果につきましては、この後、本会議におきまして、議長より報告をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、事務局より協議事項がございますので、よろしくお願いいたします。

事務局長。

○議会事務局長(加瀬寿一) それでは、決算審査の日程と各議案の審査方法についてご協議をお願いしたいと思います。

まず、決算審査の日程についての協議でございますが、予定では9月11日、14日、15日の3日間を予定しておりますので、事務局案としましては、議案第1号の一般会計決算の審査は、審査内容が多岐に及ぶことから、9月11日の1日の日程で審査をしていただきまして、次の14日に議案第2号から議案第10号までの特別会計及び企業会計の決算を、議案第2号から順次審査をしていただきまして、15日を予備にしてはどうかと思いますが、ご協議をいた

だきたいと思います。

次に、各議案の審査方法についてですが、議案第1号の一般会計決算の審査方法については、審査内容、こちらが多岐に及びますので、事務局案としましては、昨年同様に歳出の款ごとに区分をいたしまして、初めに1款議会費から2款総務費まで、次に3款民生費から4款衛生費まで、次に5款労働費から8款土木費まで、そして9款消防費から14款予備費までの、この四つに区分しまして、それぞれ歳入歳出を合わせて審査をしてはどうかと思っております。

また、議案第2号から議案第10号までの特別会計及び企業会計決算の審査方法については、議案ごとに歳入歳出を合わせて審査してはどうかと思いますが、併せてご協議をお願いしたいと思います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（神子 功） 事務局の説明が終わりました。

ただいま事務局より決算審査の日程及び各議案の審査の方法について協議がございました。

まず、協議の内容といたしましては、決算審査の日程についてですが、事務局案では、議案第1号の一般会計決算の審査につきましては、内容が多岐に及ぶということから、9月11日の1日の日程で審査をまず行い、その後、14日には、議案第2号から議案第10号までの特別会計及び企業会計の決算について、15日については予備日にしてはどうかという内容でございました。

次に、各議案の審査の方法ですが、議案第1号の一般会計決算の審査につきましては、昨年同様に歳出の款ごとに分けて、それぞれ今説明がありましたように、歳入歳出を合わせて審査を行い、また、議案第2号から議案第10号までにつきましては、特別会計及び企業会計決算について、議案ごとに歳入歳出合わせて審査してはどうかという内容でございました。

それでは初めに、決算の審査の日程につきましてご協議をお願いしたいと存じます。

ご意見がございましたらお願いをいたします。

嶋田委員、どうぞ。

○委員（嶋田哲純） 14日の文化会館である表彰者のあれは行かなくてもいいわけですか。

（発言する人あり）

○委員長（神子 功） 10月……。

○委員（嶋田哲純） 分かりました。

○委員長（神子 功） 10月14日ですね。

いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（神子 功） 異議なしということでございますので、それでは決算審査の日程についてでございますが、事務局案のとおり9月11日の1日の日程で、まず議案第1号の一般会計決算の審査を行い、次の14日に特別会計及び企業会計決算の議案第2号から順次審査を行って、15日は予備日にするということによろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（神子 功） それでは、ご異議ないようでございますので、決算審査の日程につきましては、事務局案のとおりということで決定をさせていただきたいと思います。

次に、各議案の審査方法についてご協議をお願いいたしたいと存じます。

ご意見がありましたら、お願いをいたします。

高木委員、どうぞ。

○委員（高木武雄） 確認というか、先ほどの事務局案についてお伺いをいたします。

この案ですと、歳入は全部款項別々に歳入もやる、歳入だけ先にやるのではなくて、全部歳入も、この款項別々に歳入もやると。そうしますと、職員が一日張りつかなければならないというような面も出てきますけれども、歳入だけ先にやっちゃうというわけにはいかないでしょうか。

○委員長（神子 功） 事務局長。

○議会事務局長（加瀬寿一） 事務局案のほうを、もう一度確認のために申し上げますが、歳入と歳出を一緒に行う案でございます。歳入のほうを先とか、いろいろ案はございましょうが、そうしますと、逆に歳入の時間に何々課の職員が出てきまして、次に、ちょっと時間が見えないところで、もう一度、歳出の場面で担当課職員という場面もあろうかと思っておりますので、昨年こういう形でやって、どうにかスムーズな形でできたと伺っておりますので、どうかと思っております。

それと、歳入、たまたまほかの関連が出てきた場合にしましても、財政課の職員は、ずっと出ておりますので、多少のそういう補足なり説明はできるかと思っております。

以上でございます。

○委員長（神子 功） よろしいですか。

○委員（高木武雄） 分かりました。

○委員長（神子 功） 各委員の皆様、一応、事務局案はよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（神子 功） それでは、意見がないということで、各議案の審査の方法につきましては、事務局案のとおり、議案第1号の一般会計決算の審査方法につきましては、歳出の款ごとに分けまして、それぞれ歳入歳出を合わせて審査を行い、また、議案第2号から議案第10号までの特別会計及び企業会計決算につきましては、議案ごとに歳入歳出を合わせて審査するというところでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（神子 功） ご異議ないようでございますので、各議案の審査方法につきましては、事務局案のとおりということで決定をさせていただきます。

それでは、何かほかにございましたら、お願いをしたいと存じます。いかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（神子 功） よろしいですか。それでは、特にないようでございますので、以上をもちまして決算審査特別委員会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでございました。よろしくお願いいたします。

閉会 午前11時55分